

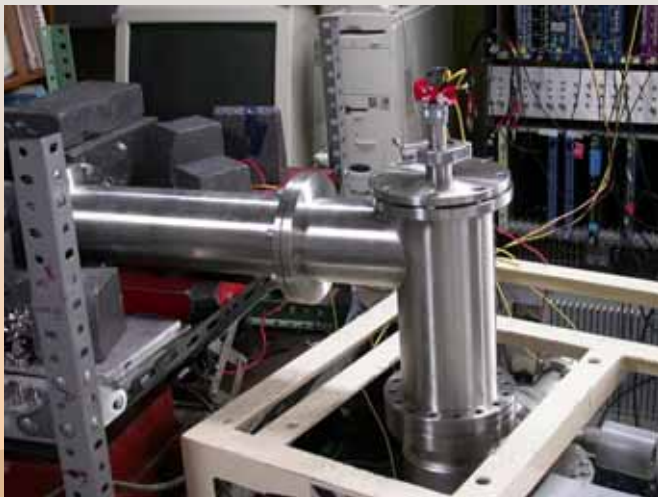
2004年度課題研究P2発表会

崩壊におけるParityの破れの検証

日時: 2005年6月4日(土) 13:30 ~

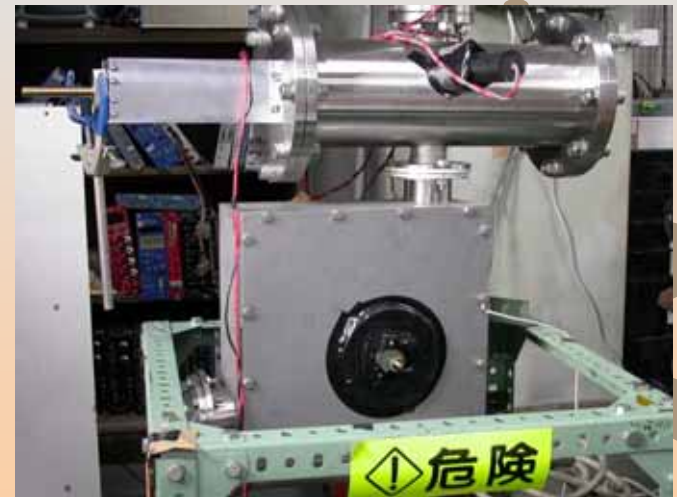
場所: 411号室

(1) Slow positronを用いた測定



電子のスピン方向を変えてPara positroniumからの 2^{-} の生成量の違いを見る。エネルギーが数keVのslow positronを用いる。

(2) Mott散乱を用いた測定



高電圧印加用チェンバー: 最大30kVまでかけられる。電場によってスピンの方向を変えることなく電子の方向を変える。